

新たな「実施計画」骨子等に係る県民参加意見の概要

- 募集期間 平成23年10月14日（金）～ 11月15日（火）
- 意見の提出方法 郵送、メール、ファクス等
- 意見の件数 24件（10月31日到達分まで）（内訳：個人県民 22件、市町村職員 1件、団体職員 1件）
- 意見の反映状況

区分	件数
新たな「総合計画」素案に反映しました。	14
新たな「総合計画」素案には反映していませんが、ご意見のあった施策等は既に取り組んでいます。	2
今後の政策運営の参考とします。	14
反映できません。	1

* 同一の意見に対し複数回答しているものがあるため、件数の合計は意見件数と一致しない。

○ 主な意見

意見要旨	対応・反映状況
スマートエネルギー構想の推進は評価するが、太陽光発電について、ハード面での整備を推進してほしい。	太陽光発電のハード整備の推進については、かながわグランドデザイン実施計画編（仮称）（素案）の「かながわスマートエネルギー構想の推進」プロジェクトに「太陽光発電など再生可能エネルギー等の導入促進」を掲げ、重点的に取り組むこととしました。
廃校になっている校舎を利用し、福島等で被災した子供たちのために家族を受け入れ、支援活動をしてはどうか。	被災地・被災者への支援については、かながわグランドデザイン実施計画編（仮称）（素案）の「大規模災害などに備える災害対応力の強化」プロジェクトに、「災害時の即応体制の強化」を掲げ、東日本大震災の被災地・被災者の支援に重点的に取り組むこととしました。
地域の特産である農産物をPRしてほしい。	地域農産物のPRについては、かながわグランドデザイン実施計画編（仮称）（素案）の「かながわの特色を生かした農林水産業の展開」プロジェクトに「県民の求める「食」の提供の推進」の中で、かながわブランドサポート店などとの連携により重点的に取り組むこととしました。
地域のマグネット力を高めるため、郷土への誇りと親しみを持たせることが必要だと思うが、地域の様々な魅力について知らない県民も多いので、魅力を広めるための広報をしてほしい。	地域の様々な魅力や、魅力を高める取組みについては、かながわグランドデザイン実施計画編（仮称）（素案）の「国内外から人を引きつける神奈川の魅力づくり」プロジェクトに「国内外からの観光客の誘客促進」を掲げ、ホームページや冊子などを通じた観光情報の発信など重点的に取り組むこととしました。
県内の道路整備を推進して交通アクセスを便利にして欲しい。	交通アクセスの利便性向上については、かながわグランドデザイン実施計画編（仮称）（素案）の「活力と魅力あふれるまちづくりと交通ネットワークの充実」プロジェクトに、「交流と連携を支える道路網の整備」を掲げ、重点的に取り組むこととしました。